

# えべつの未来づくりミーティング

～ 大麻地区自治会連絡協議会編 ～

令和4年7月25日（月） 大麻東地区センター大会議室  
午後1時～午後3時10分

## 1 江別市の「強み」「弱み」は

- ・在職中は大麻地区から札幌市に通勤し、買物も札幌市で済ませていたため、退職するまでは野幌地区や江別地区に目は向かなかった。札幌市に近いことが強みでもあるが、札幌市に通勤している人は、江別市への関心が低いと思うので、退職後だけではなく、現職中にも、住んでいる江別市に関心を持ってもらえるようなPRをもっとした方が良いと思う。江別市の歴史や特徴も、市民に浸透していないのではないかと思います。
- ・退職後、江別市に目が向くようになって、「江別市もなかなかいいじゃないか」と思うようになった。自然が豊かで、観光するところもある。恵庭市は「花のまち」と広くPRしているが、江別市はPRが足りないと思う。
- ・生まれは函館市で、道内の各地に転勤して住んでいたが、江別市は住みやすいなと思い、家を建てた。JRが便利で、札幌市に行きやすい。また、比較的落ち着いて過ごせる環境でもあることが強み。弱みについては、アンケート調査結果では除排雪への指摘が多かったが、アンケート調査の実施時期が昨年10月では無く、今年1月の災害級の大雪の後だったら、もっとマイナスの評価になっていたと思う。除排雪体制をしっかりと整備して、除排雪の良さが強みになるようにしてはどうか。倶知安町から転入して来た人が、除雪の仕方が倶知安町と違うと言っていた。また、若い世代はSNS世代なので、子育て世代は、家を建てて一年経って、住み心地が良ければ、口コミで良さを広げると思う。そのほか、共働きの子育て世帯が増えているが、病児・病後児保育を実施しているところが2か所しかないので、病児・病後児保育を充実させれば、口コミで良さが広がると思う。
- ・強みは、高速道路のインターチェンジが二つあること。アクセスの利便性が良い。弱みは、札幌市のベッドタウンであるため「札幌市江別区」という感じがあり、いろいろなイベントはあるが、市外から多くの人を呼んでお金を使ってもらえるようなイベントはない。また、特産品がレンガと言われるが、堅苦しいイメージだと思う。ただ、私は、江別市が大好きである。



- ・強みは、大自然が残されていること。野幌森林公園は素晴らしいと思うが、子どもを連れて行っても、道立自然公園であるため、動植物を採ることができない。狭い範囲でも構わないので、入口付近を子どもたちに開放して、動植物の採取やオリエンテーリングができるようにしてもらえないだろうかと思っている。また、散策コースの一番短いコースが3キロだが、お年寄りだと歩ききれない。入口付近に短めの散策コースができれば、お年寄りにも利用しやすくなるのではないだろうか。弱みは、江別市は財政が厳しいこと。生活を支えるような企業はあるが、世界に向かっていくような、お金を稼ぐような企業がない。

これからの産業は、多様化していくことに目を向けて、これから発展するであろう産業を優遇して誘致してはどうだろうか。また、江別市は、メルヘンやロマンというイメージづくりがしやすいまちだと思う。

- ・インターチェンジが二つあることは強みだが、降りたところが寂しい。もっと活用できないだろうか。
- ・JR大麻駅の乗降客は多いので、駅前の整備を進めてほしい。発展性はあると思う。
- ・文京台地区と大麻地区がJRの線路で分断されている。高架化するなどして、一体化を図れないか。

## 2 自治会活動の現状と課題について

- ・役員の担い手がなく、高齢化している。役員は輪番制をとる自治会が増え、役員の意識が低くなり、義務的な感じになった。協力体制が乏しくなっている実態がある。女性にも役員に入ってもらおうと働きかけているが、なかなか難しい状況にある。若い人に入ってもらって、意識を変えていかないと成り立たないと感じている。住民の自治会離れも進んでしまっており、自治会に入らなくてもいいと考える人が増えている。その一方で、新しい団地では、若い世帯が活発に活動している自治会もあるので、情報をもらって、参考にしながら活動していこうと思う。コロナ禍で事業ができず、役員の意識も希薄になってきた。コロナ禍も3年目となり、これからは少しずつ事業をやっていこうと話していたが、感染の再拡大で出鼻をくじかれた。事業が中止になると「自治会は何もやっていないならば、いらぬのではないか」と考えられてしまうので、そうならないようにしていきたい。
- ・地域の半分が集合住宅で、古い団地は築50年で、高齢化が進んでおり、ひとり暮らしの高齢女性が多い。以前、市の花植えの活動に参加する際、花を植えるのが大変なので花壇は要らないという自治会が出てきて、説得するのが大変だった。若い人が入ってきて、高齢者はフォローするという形が良いとは思っている。



- ・これまでどおりの自治会活動を続けるのは難しい。市からの連絡を、自治会を通じて行っていることが多く、例えば、大雪の時に、自治会で単身高齢世帯の見守りをしてほしいという連絡が市からあったが、難しかった。共働き世帯が増え、退職する年齢が高まっており、自治会活動をやりたくてもできない人もいる。核家族化も進み、小さな子どもがいる世帯は子守役がいないので、参加が難しくなっている。また、地区ごとに同じ年代が固まっているので、世代交代がしづらくなっている。自治会が何をやっているかを伝えていかなければならないと思い、自治会の会議で話し合ったことを「自治会便り」にして、全戸配布している。自治会で何をやっているかが見えなければいけないと思う。

- ・私がいる地域には、三つの自治会があるが、各自治会で温度差がある。役員がイベントを計画して、子どもたちのイベントや地域の高齢者の交流会（バスツアー）などを行っている。今、女性の役員が3割ほどいるが、女性がやると、子どもも含め、人が集まりやすいと感じている。自分より年齢が高い役員もいるが、年齢が高くなると、若い人の考えや行動についていけなくなることがネックだと思う。文京台地区には大学が多いが、札幌学院大学の一部が新札幌地区へ移転したことで学生が少なくなり、寂しいと感じている。大学生は集合住宅に住んでいることが多いが、不在であることが多く、自治会に入ってもらえないことが多い。文京台地区でも、最近は子育て世帯の転入が増えており、新しい世帯が来ると、雰囲気も違ってくると感じている。野幌地区にある自治会では、北海道情報大学の大学生を役員に迎えたという話を聞いたので、うちもチャレンジしようという意見は出たが、大学生は20歳から役員になってくれたとしても、2年経つといなくなり、学業や就職活動もあるので参加することが難しいということで、実現できなかった。
- ・私がいる地域では、以前は高齢化率が45%になったこともあったが、若い人が入ってきて住み替えが進み、人口も増え、高齢化率が低下した。若い人たちと考え方や意思疎通の仕方も違うと感じている。公園の清掃や花植えには、動員をかけると、若い人も含め60%以上の方が参加する。このように、動員する活動には若い人も参加するが、イベントの実行や回覧板を回すことなど、昔からの活動には

疑問を感じているようだ。若い人が役員に入るようにはなったが、自治会の活動が軽くなってきていると感じている。

- ・大麻地区では、古い住宅が解体されて、そこに戸建て住宅が二棟建ち、若い世代が入って来て、世代交代が進んでいる。近年は、家の前で遊んでいる子どもも増えている。今の若い人たちは、SNSなどで友人とのつながりが発達していて、情報が早く伝わるようだ。自分の娘も友人からの情報で、若い世代が多く住む地域に家を建てたが、その地域には自治会がないらしい。それでも困らないそうだ。そういう地域も現実にあるので、江別市も対応を変えていくことが必要なのではないか。

### 3 人口減少が進む中で、江別市が力を入れるべき分野について

- ・産業については、世界に通用する企業を誘致することが重要ではないか。小麦とその加工品を手掛かりにして、国際的に通用する産業をつくるなど。また、三世代で住めることはすばらしいと思うので、三世代と一緒に住めるまちづくりを進めるべき。江別市は埋蔵文化財や歴史、北海道遺産のレンガなどがあるので、そういうものを生かして、ロマンをかきたてるようなイメージづくりをしてはどうかと思う。まずは、国道沿いやバス停から着手してはどうか。
- ・世界に類のない、野幌森林公園があるので、市民が集えるような空間を入口近くにつくり、その奥に森林が広がっているという、野幌森林公園を生かしたまちづくりと産業の誘致などを進めれば、未来がひらけるのではないだろうか考える。
- ・優れた地場産業があるのに、市民にあまり知られていない。もっと市がPRした方が良いと思う。また、若い人が流出するのは、江別市内に求めているものがないからだと思う。札幌市や東京などに行ってしまう若い人を引き止めるには、江別市内に魅力的な就職先がなければいけない。産業をもっと盛んにして、江別市からは出て行きたくないと思われるようなまちになってほしい。
- ・市の職員が生き生きと働けるような環境の整備が重要だと思う。限られた財源の中で、いかに市民を導いていくかが大切で、そのような環境になるような改善をしてほしい。また、人口減少が進む中で、江別市が頑張ることと、他の自治体をお願いすることと、もう少しメリハリをつけた方が良いと思う。江別市の強みは、政令指定都市ではないが北海道の施設が多いことだと思う。北海道の施設は北海道に任せて、江別市が頑張らなければならない部分に力を入れていくべきだと思う。それから、地下鉄を何とか江別市まで延伸してもらうことと、インターチェンジ周辺の活用も考えるべきだと思う。



・江別市のイメージ戦略が必要だと思う。是非良いキャッチフレーズをつくってほしい。大都市・札幌市に近いことは、弱みではなく強みだと思う。例えば、「田園都市」などのイメージが良いのではないかと考えている。広い住宅地が得やすく、家庭菜園もできる。子育て環境が良く、高齢者福祉が充実している。文化の香り高い施設がいろいろあり、災害に強いまちであることやCCRCを推進していることなど、アピールポイントは多くあると思う。また、スポーツ振興をしてほしい。江別市を代表するスポーツを定めて、強化を進めてほしい。

- ・新しい視点として、観光開発をしてはどうか。人を呼んで、お金を稼ぐ。イベントの開催も取り入れて、市を挙げて開発観光に取り組んでほしい。冬場の対策として、大きな温室を作って、人を呼んではどうか。江別は地味で、どちらかと言えばPRが下手だと思う。もっと前向きに、活性化を図っていくことが大事ではないか。個々では、若い人が个性的なお店を開いている。もう少しPRしてあげて、育てていくことも大事だと思う。身近で小さな器の中で、人口を取り合うのではなく、外から広く、多くの人を呼び込むことが重要であり、それがまちの活性化につながると思う。

